

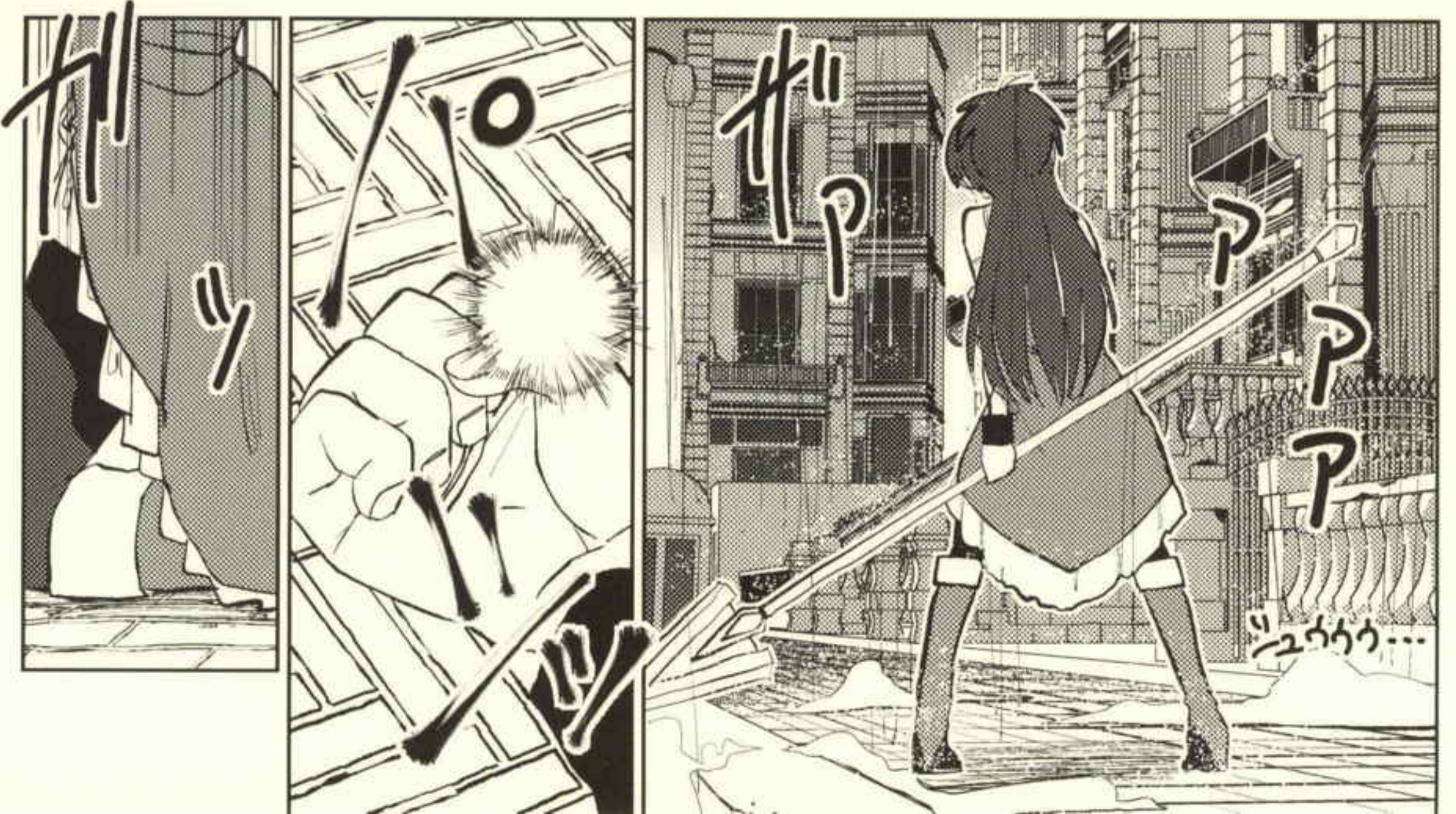
When one door shuts

another opens

捨てし神あれば

When one door shuts, another opens.





「捨ててる神あれば」

ア
ア
ア

ア

ア

ア

ア

ア

作者・御座衛門

ハマツ

ハマツ





いってえ...

日々怪我が増え、
実感する事がある



私は仲間を失いた
ただ放浪していた

傷が目立つと
面倒だな...



私にはもう
何も残って
いなかったから。



私は弱くなった。

そーうー

し...
ス...



早くしな

だがそれは
あまりに空っぽで



頭をこのカウンター
みたいにされたく
なければ金出しな

社会も、他人も
もはやどうでも
良かった



やりたい通りの人生。
勝手気ままな人生



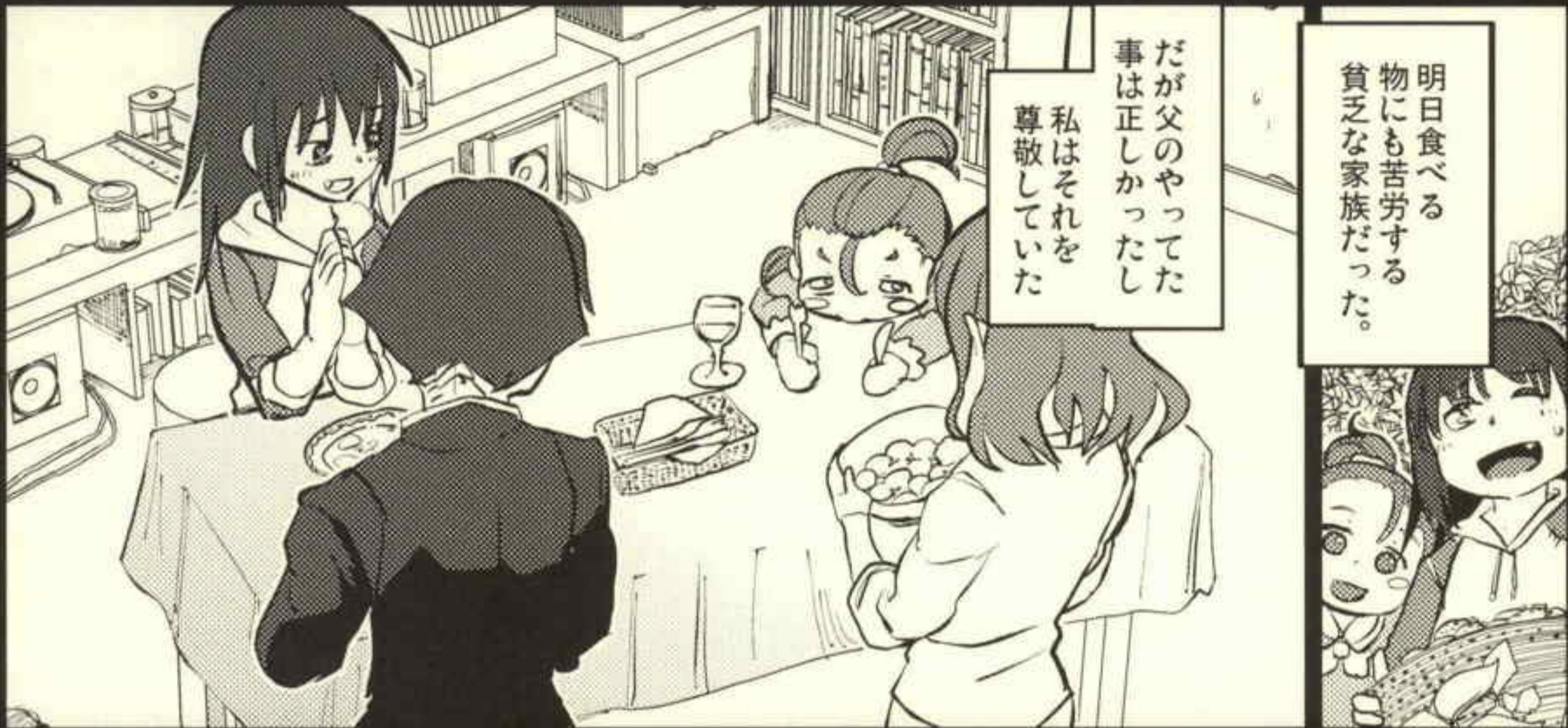
イライラしていた。



私にはかつて
家族が居た。



この空っぽな感覚。
覚えがあった。



明日食べる物にも苦勞する貧乏な家族だった。

だが父のやってた事は正しかったし私はそれを尊敬していた



そして私は父の祈りを願った



それからというものの親父の信者はうなぎ上りに増えた。



私達家族は幸せだった。



魔法少女になり仲間も出来た

父と娘で人々の生活を守る事がこの上ない誇りだった

そして

私の身勝手な願いは
簡単に父を
壊してしまった。

こんなはず
ではなかった。

私はただ
父の笑顔が
見たかっただけだ

妹に腹いっぱい
飯を食わせて
やりたかった

たった数人、
幸せにしたかった

正気に目覚めた
人々はこぞって
教会を敵視した

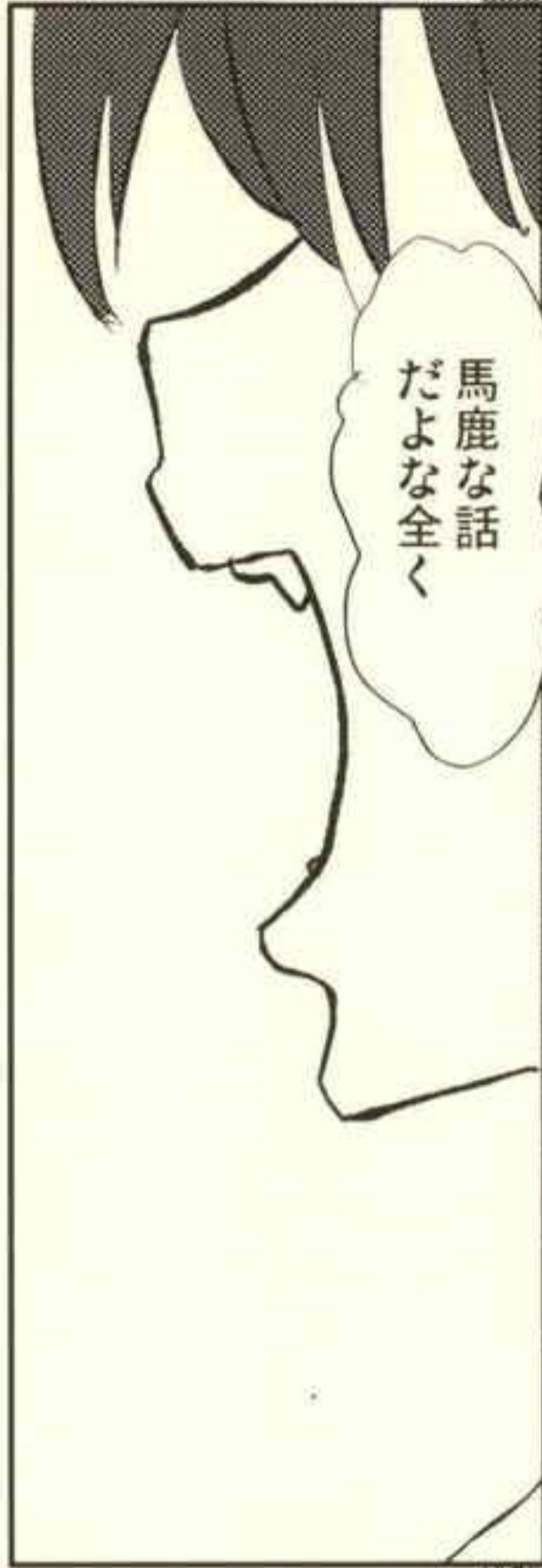
教会は
徹底的に
壊された

壊

神などいなかっただ。



馬鹿な話
だよな全く



私は間違っていた。



私の選択が皆を殺したんだ。

かつて見滝原
には4人の
魔法少女がいた



優しさが
つらかった。

あいつの足手
まといに
なりたくなくて
分かれた

後輩を庇って
死んだそうだ。

結果

自分の正義に
押しつぶされた。

1人は初めて
仲間と呼べる
奴だった。

1人は
いけ好かない
奴だった。

真似事で
正義を語る
身の程知らず。

かつての
自分みたく
嫌いだった。

最後の二人は
戦って死んだ。

規格外の敵
から人々を
守ろうとした



結果は散々なモノだった。

仲間は全員死んだ。それでも厄災は止まらず何万人の死者が出た。

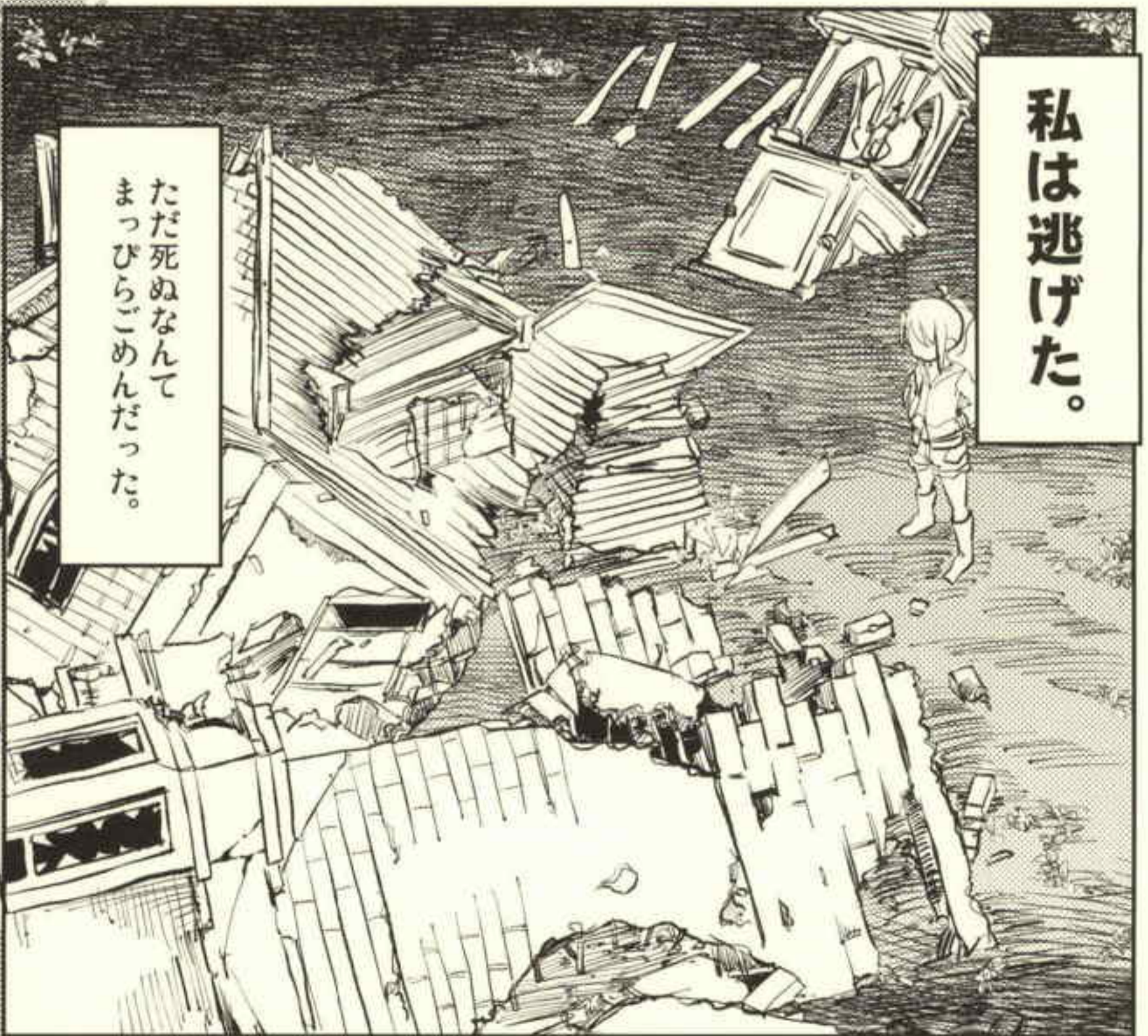


ただの無駄死にだった。

何人束になってかかっても勝てない事は明白だった。



下らねえ事で死にやがって

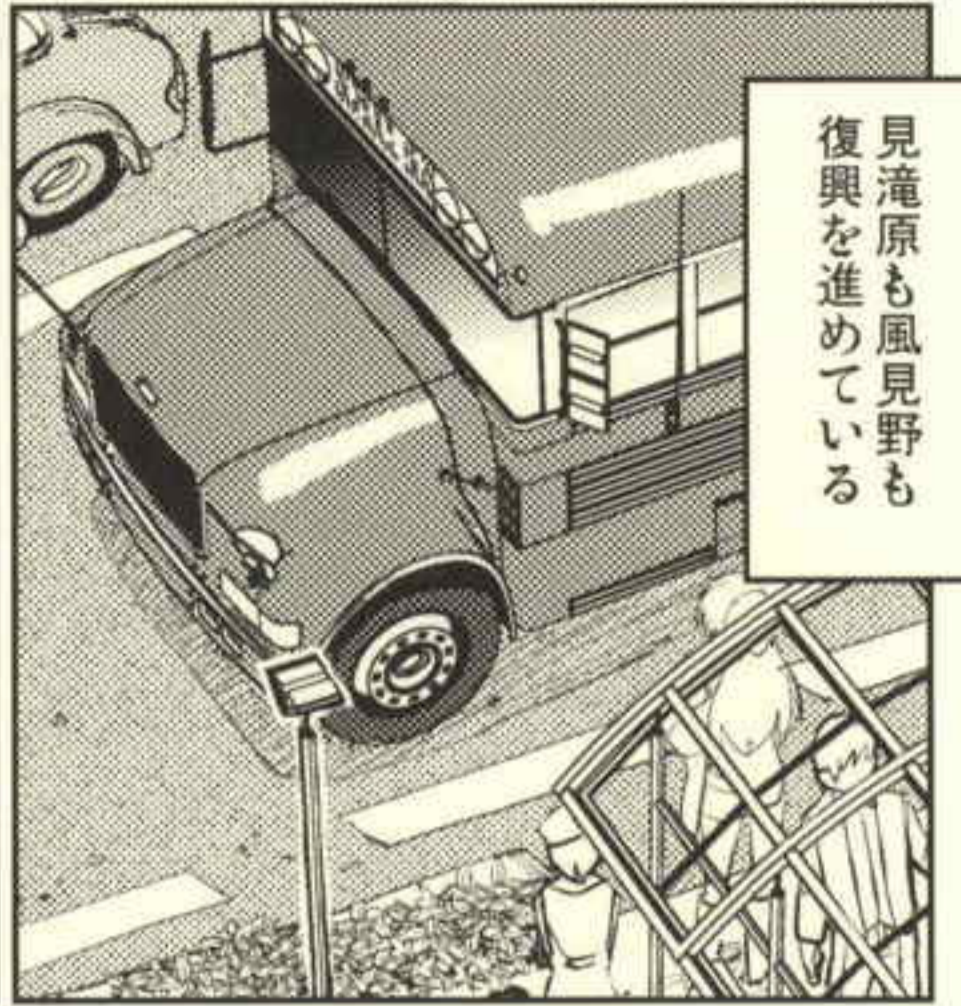


私は逃げた。

ただ死ぬなんてまっぴらごめんだった。



私の知っている
景色は何一つ無い。
愛着は無かった。



見滝原も風見野も
復興を進めている



ただ見届けて
やりたい。
そう思った。



でも
あいつらの
いた街だ。



よおマニ。

久しぶり
だな

アアア



お前が大事に
してたのと
同じものだ

せっかく立てた
お前の墓も
なくなっちゃったな。

でもお陰で
ちゃんとした墓が
出来て良かった
じゃねえか



天国ってのは
居心地は
いいのか？

私は
相変わらず
ブラブラ
してるよ。



家族を失って。
守るものを失って。

それでも周りの
皆の平和を願って戦う。



たまに思うんだ。
お前は魔法少女に
なっても私生活を
守ろうとしたよな

下らねえと
思ってたけど
その大変さ、大切さ。
今になってわかるよ。



私には耐え
られなかった

その結果が
これだ。

なあセンパイ

私はどうすれば
良かったんだろうなあ？

貧乏だった
けどあの頃が
幸せだった

奔走してた
あの頃が
楽しかった

居場所なんて
どこにも無い。

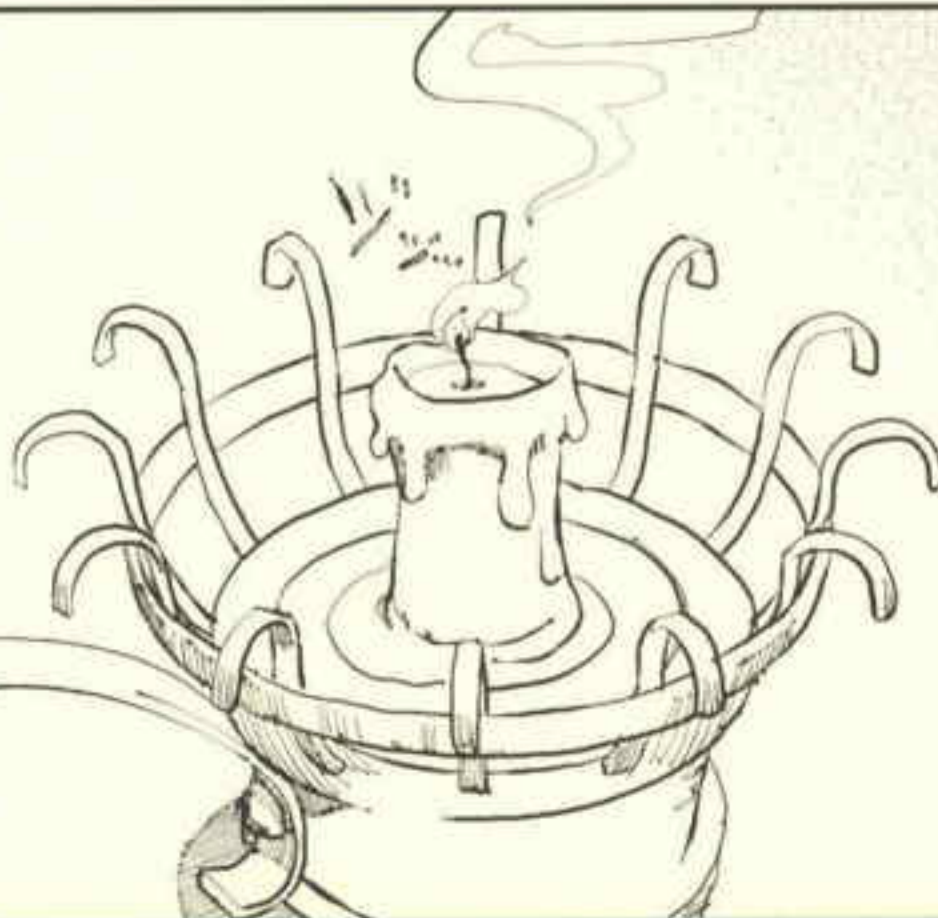
人のために
死ねたお前達が
羨ましかった。



もはや
私には帰る
場所も無い。

私には
もうそんな
資格も無い。

ただ、
自堕落な日々を
続けているだけだ





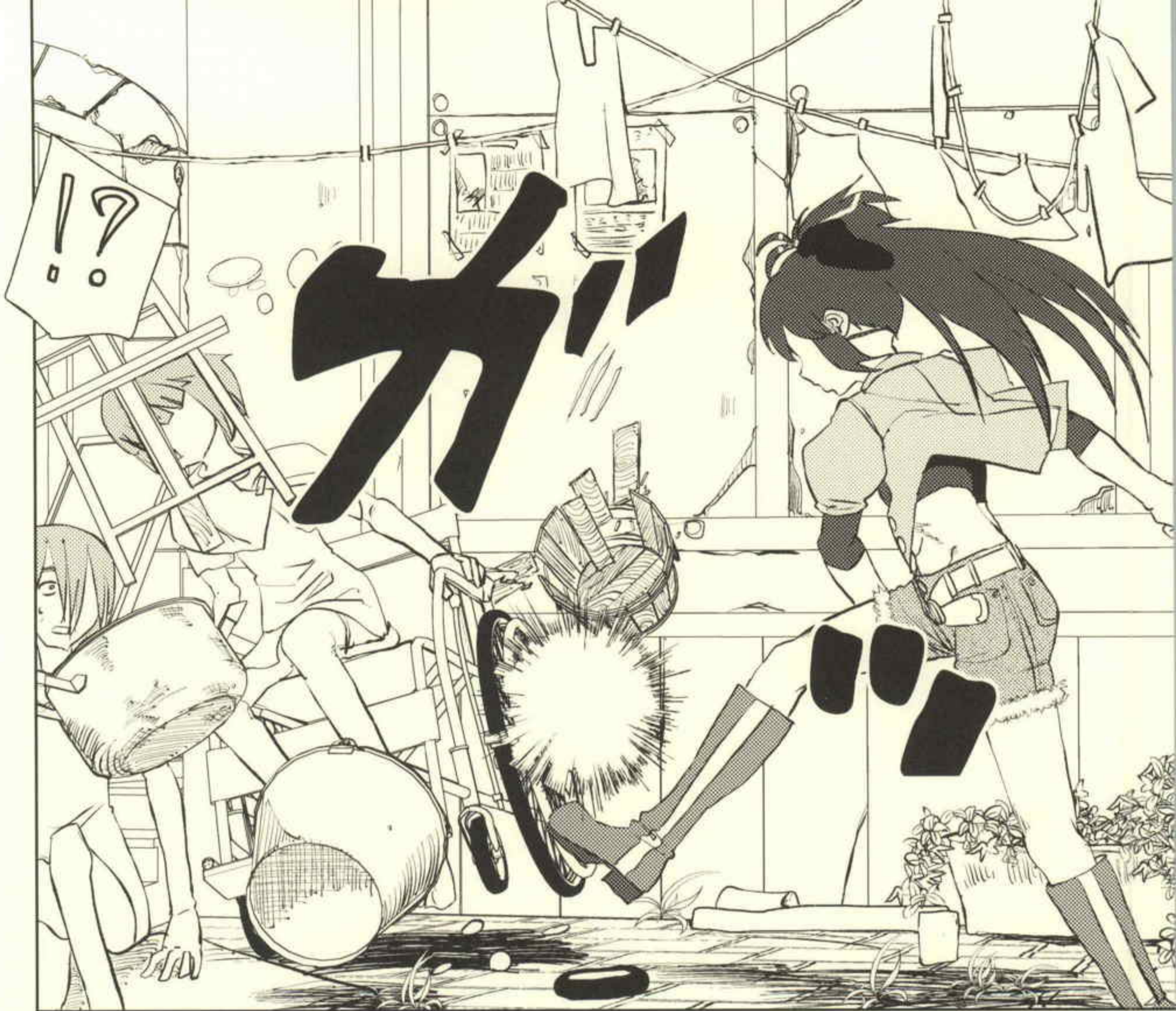
達者でな

...そろそろ行くよ。



私は今
生きているのか?





カラカラ



私は家族のためなら何だって出来た

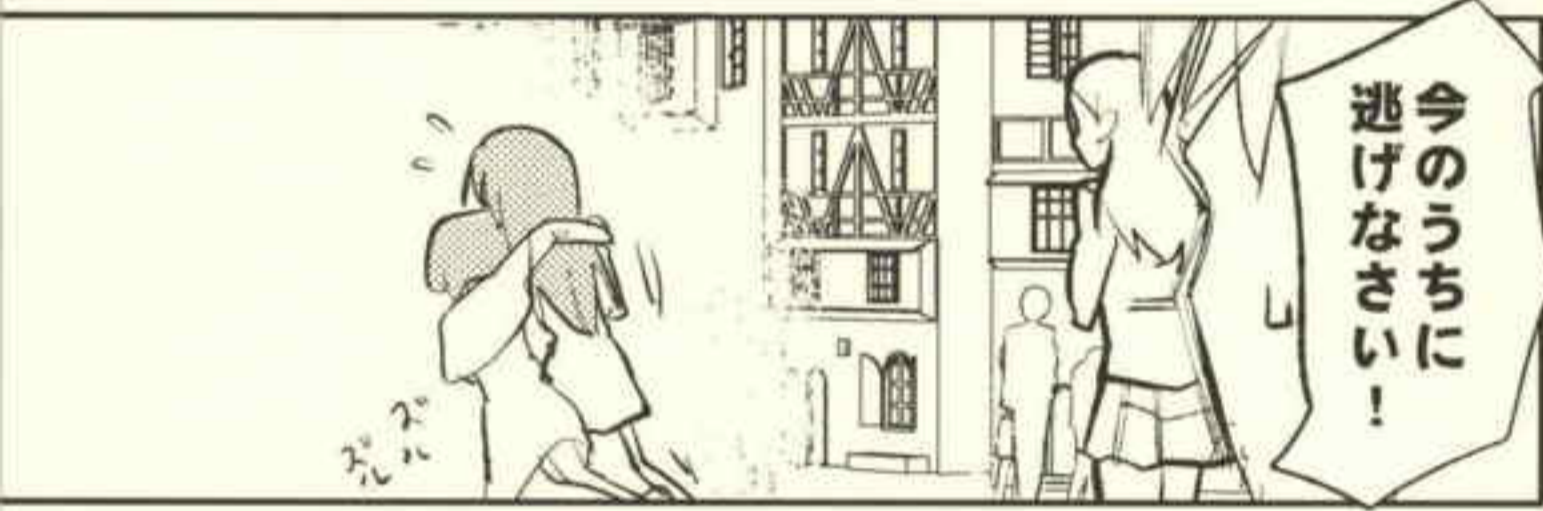
守って見せろよ！
兄弟なんだろ！



こいつとは違う！！

恵まれてるのが分かねーのか！

大切な奴もいるんだろ！
もがいてでも生きて見せろよ！



今のうちに逃げなさい！



離せ！



私とは違う！！



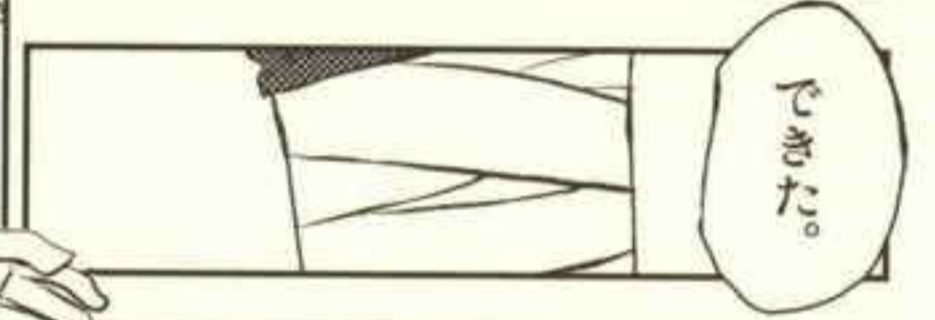
あつ？

君、怪我してるじゃないか





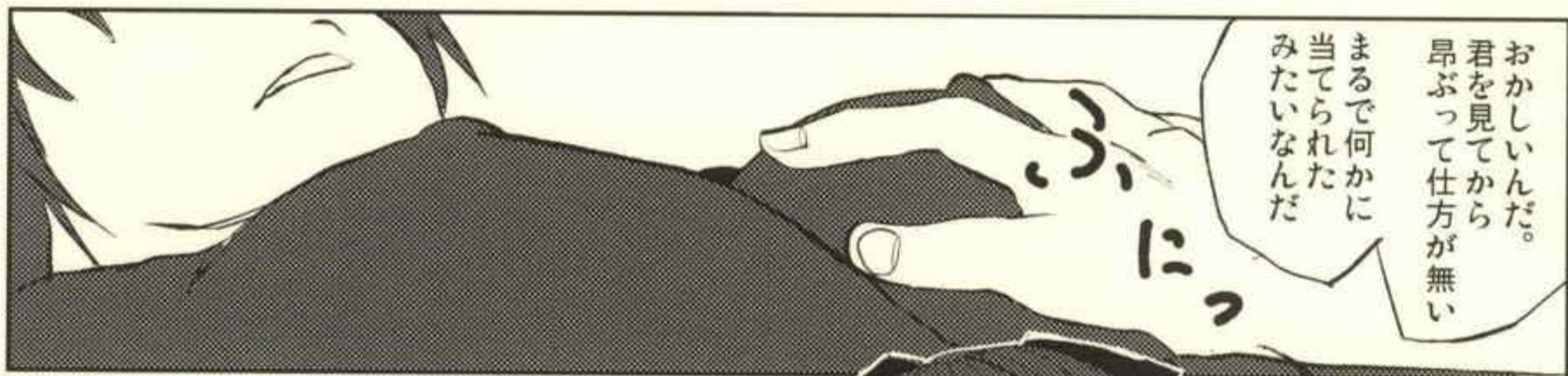
そうかい
気の毒にな。



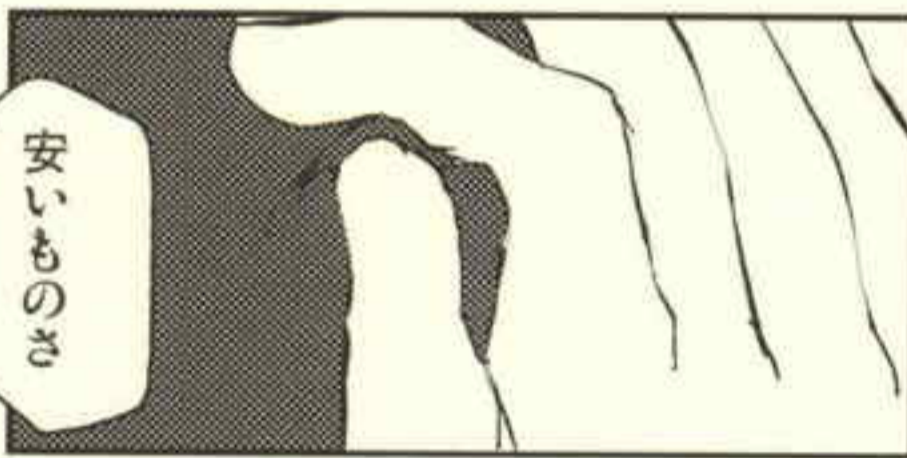
できた。



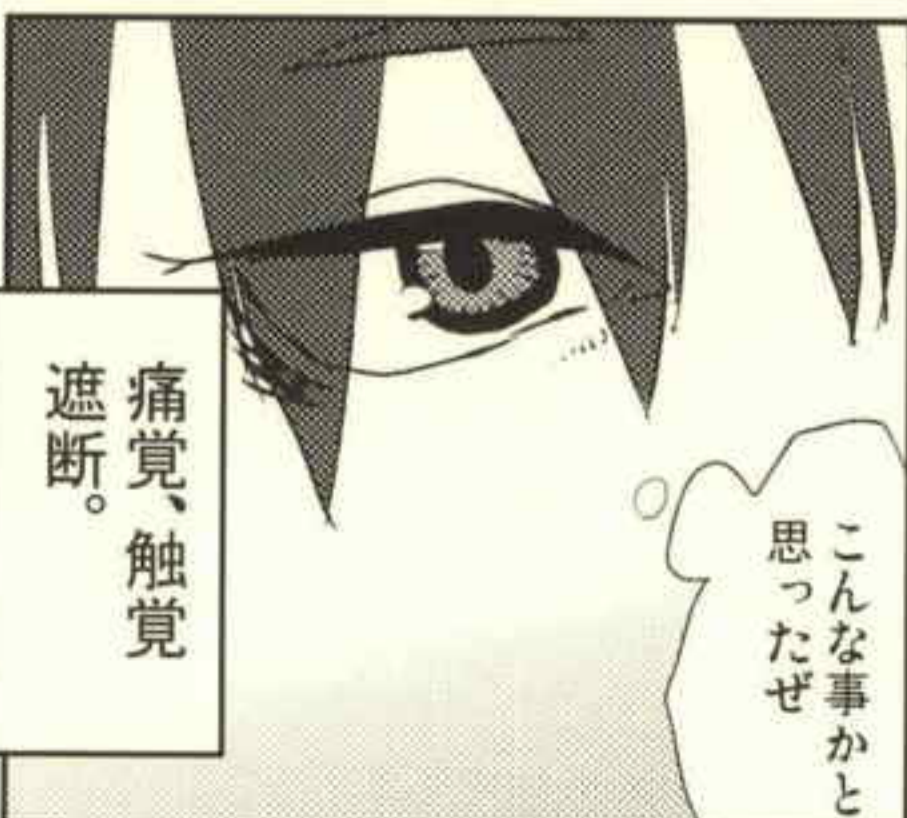
他の所も
見ておかないと
いけないね



おかしいんだ。
君を見てから
昂ぶって仕方が無い
まるで何かに
当てられた
みたいなんだ



安いものさ

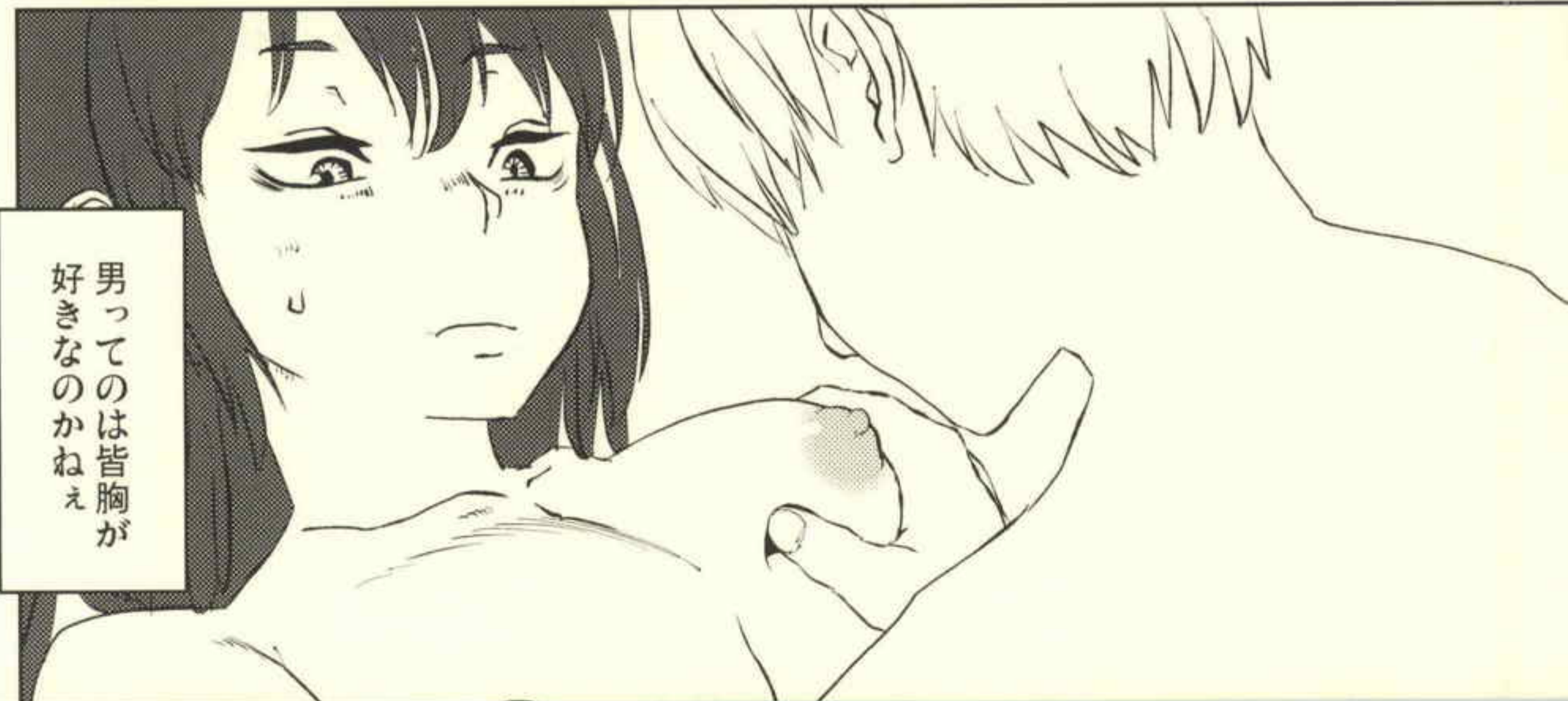
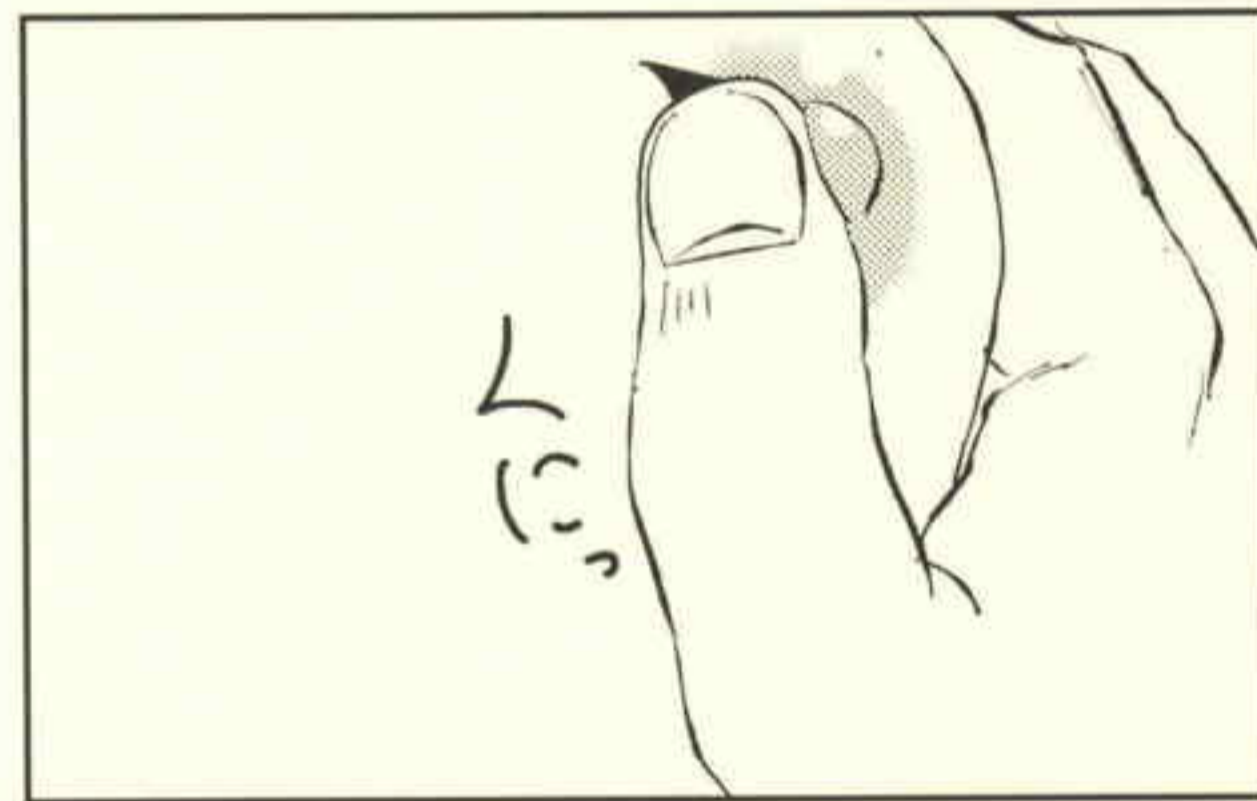
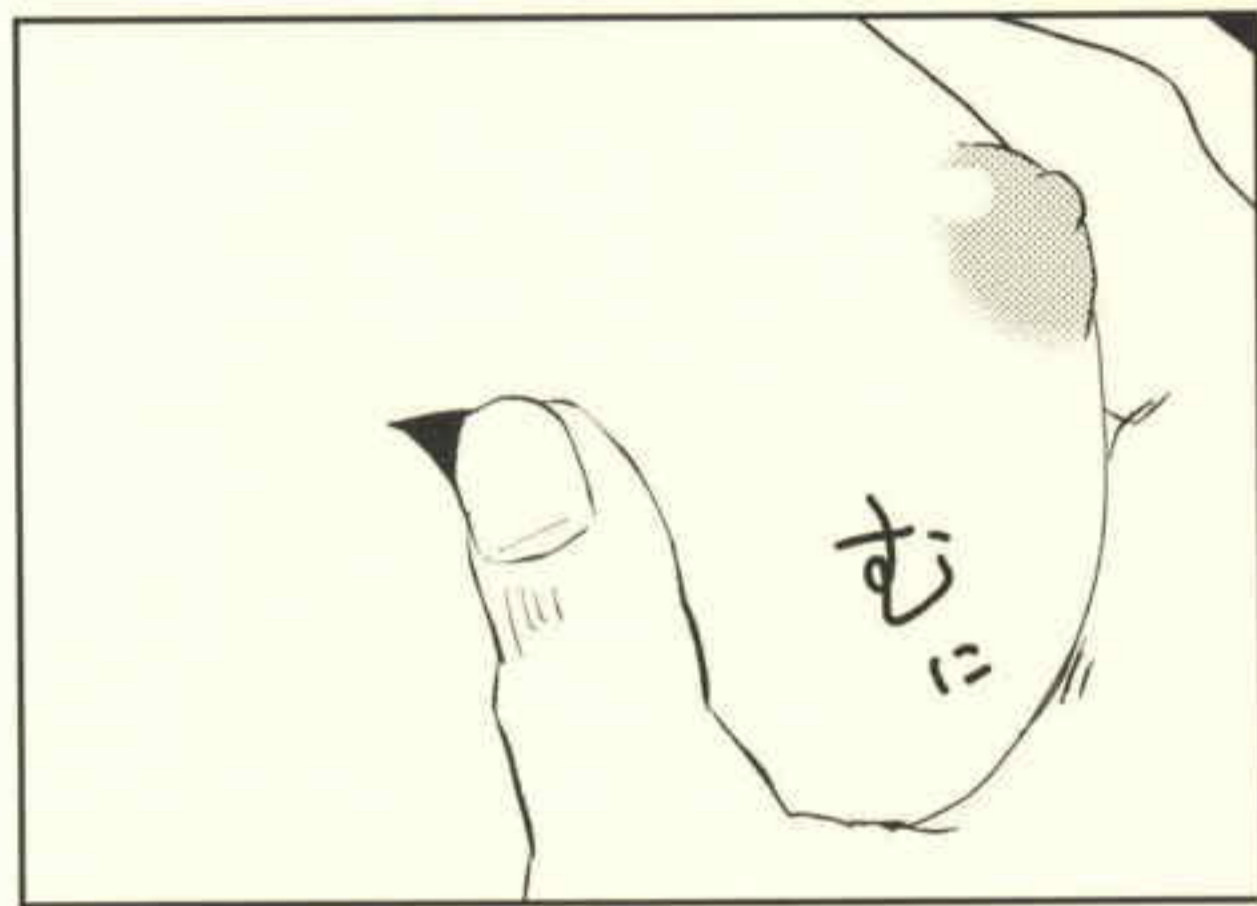
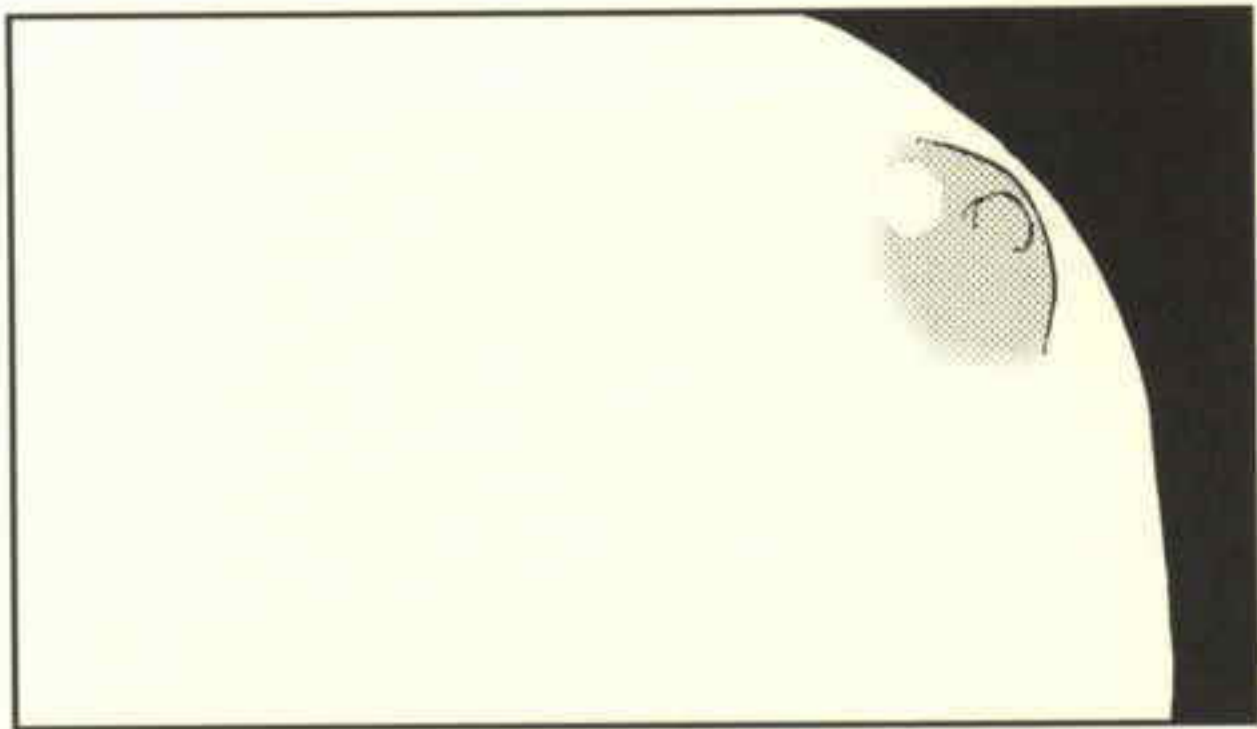


痛覚、触覚
遮断。

こんな事かと
思ったぜ



：15万。
それなら
受けてやる。



男ってのは皆胸が
好きなのかねえ



さすがに…
マミみたいなの
しとやかさが
あれば
いいんだけどな



ろ
ろ
ろ
ろ



ボロンッ

おっ
おっ
おっ



こっちも頼むよ



もっ
っ



ほら早く
啜えて!

どうすりゃ
いいんだ?



まっ



あっ臭い







動くなっ
つの!

バカ

ズッ
ズッ



痛いだけ
だっつーのに!!

ぬぽん♡

ぬぽん♡

ぬぽん♡

ぬぽん♡



力任せで
乱暴な

ぬぽん♡

ぬぽん♡

なのに



空っぽの体の
はずなのに
何かがこみ上げる

あ♡

ぽん♡

ズッ

ズッ

ト

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

なんで
こんな声
出てるんだ!?

あ♡

ズッ



こんなの
歪んでいる
そんなの
分かってる。

だが
ここまで人に
求められた事が
あったらどうか

それが嬉しくて、
体が反応する



入ってくる



体の芯まで
染み込んでくる

イヤしてる
中に挿し込んで





去り際に男は
ありがとうと
いった。



久々に人に必要と
されたのは悪い
気分じゃなかった



枕元には約束の
金があった。



目が覚めた時
には居なかった。



あいつの事を
思い出した。

15万。
こんだけあれば
当分はもつ



私にだって出来る事は
他にも色々あるはずだ。



少しだけ、
前向きになれた
ような気がした



あいつは
さっきの？



何だ
お前ら一体！
俺は無実だ！！



はなせ！

俺は知らな
かったんだ！

あいつが未成年
だったなんて！

ガキ



許すもんか
人でなしども！

死ぬまで
後悔しろ！

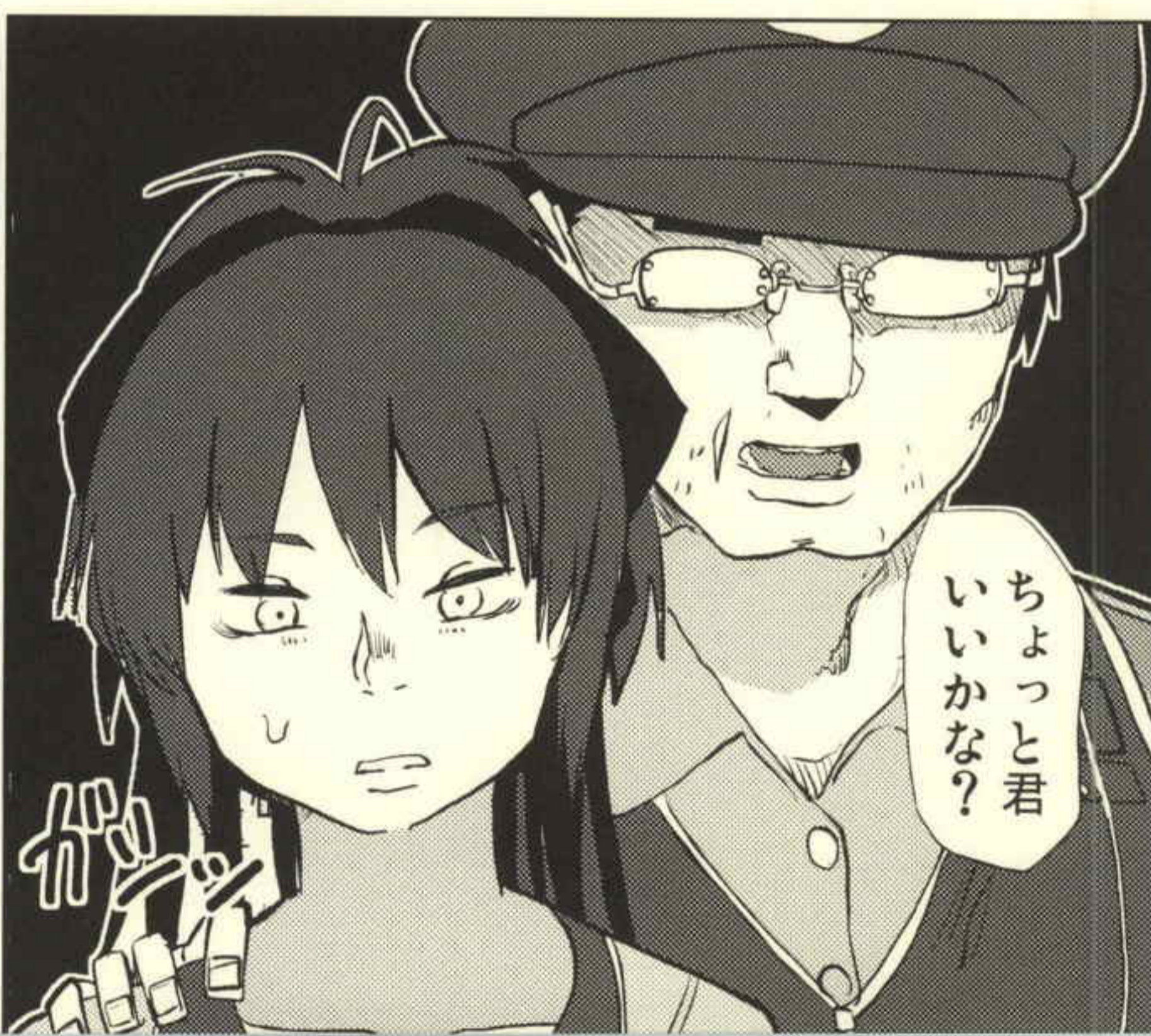
牢屋から二度と
出て来なければ
いいんだ！

あの時のガキ！？



離せ！！

ガキ



ちよつと君
いいかな？

ガキ

なっ待ちなさい!

ガガッ

ピー

どういう事だ?

佐倉…?

容疑者
逃走!

赤毛の少女で手配書の
サクラキョウコ
かと思われる

繰り返す!

容疑者は赤毛の少女。
サクラキョウコ
と特徴が合致!

あのインチキ
牧師の娘か!

またお前か!
お前らか!

家族そろって災いを
振りまきやがって!

違う!
父さんはインチキ
なんかじゃない

お前のせいで
俺の人生は
めちゃくちゃだ!

あの
悪徳宗教家の!?

この魔女め!

街から
出て行け!

いやだ!
聞きたくない!

薄汚い
呪われた
一家め。

お前らなんて
生まれてこなければ
良かったんだ

どうしてまたいっしょになる



どこから間違えた？

父の夢を願わなければ良かった？

あの時分かれば？



今更学校にも
行けない

戸籍も無い

家も無い

満足に働く事も
出来ない

いつまでこの世界を
さまよい続けられたい



「牧師の娘が
金欲じさに売春か」

「親も親なら
子も子だな」

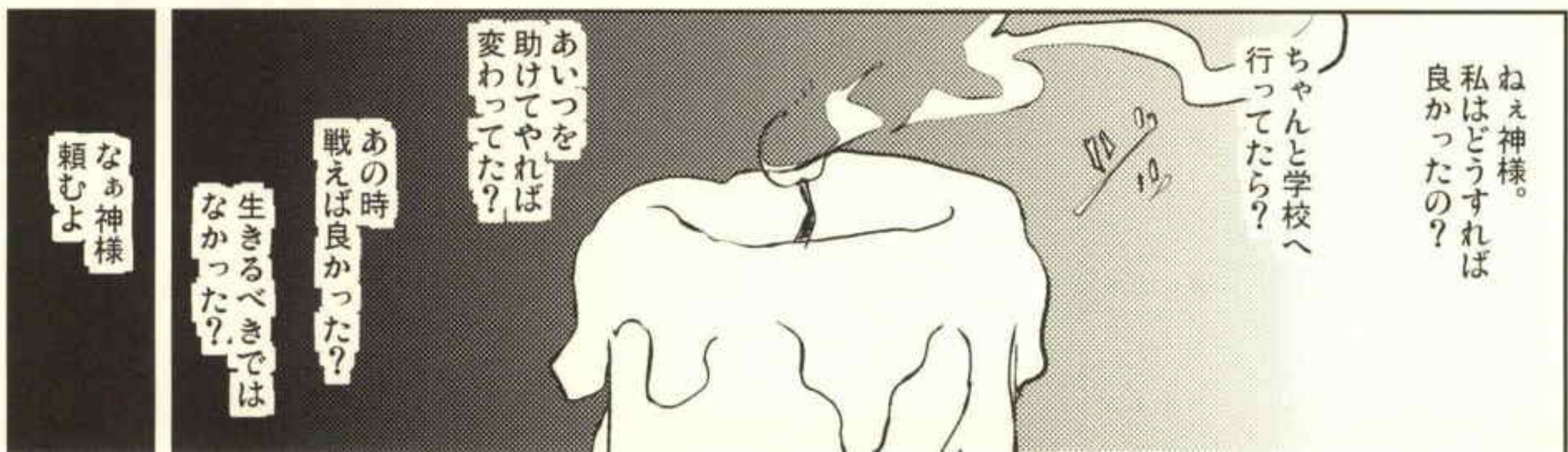
ウ



どうすれば
人並みに生きられる



何て馬鹿な
事をしたんだ



ねえ神様。
私はどうすれば
良かったの？

ちゃんと学校へ
行ってたら？

あいつを
助けてやれば
変わってた？

あの時
戦えば良かった？

生きるべきでは
なかった？

なあ神様
頼むよ

もう一度、人生を
やり直す
チャンスをくれよ



大丈夫

もし神があなたを
見捨てるならば

わたし
悪魔が拾ってあげる

私にあなたは
救えない。

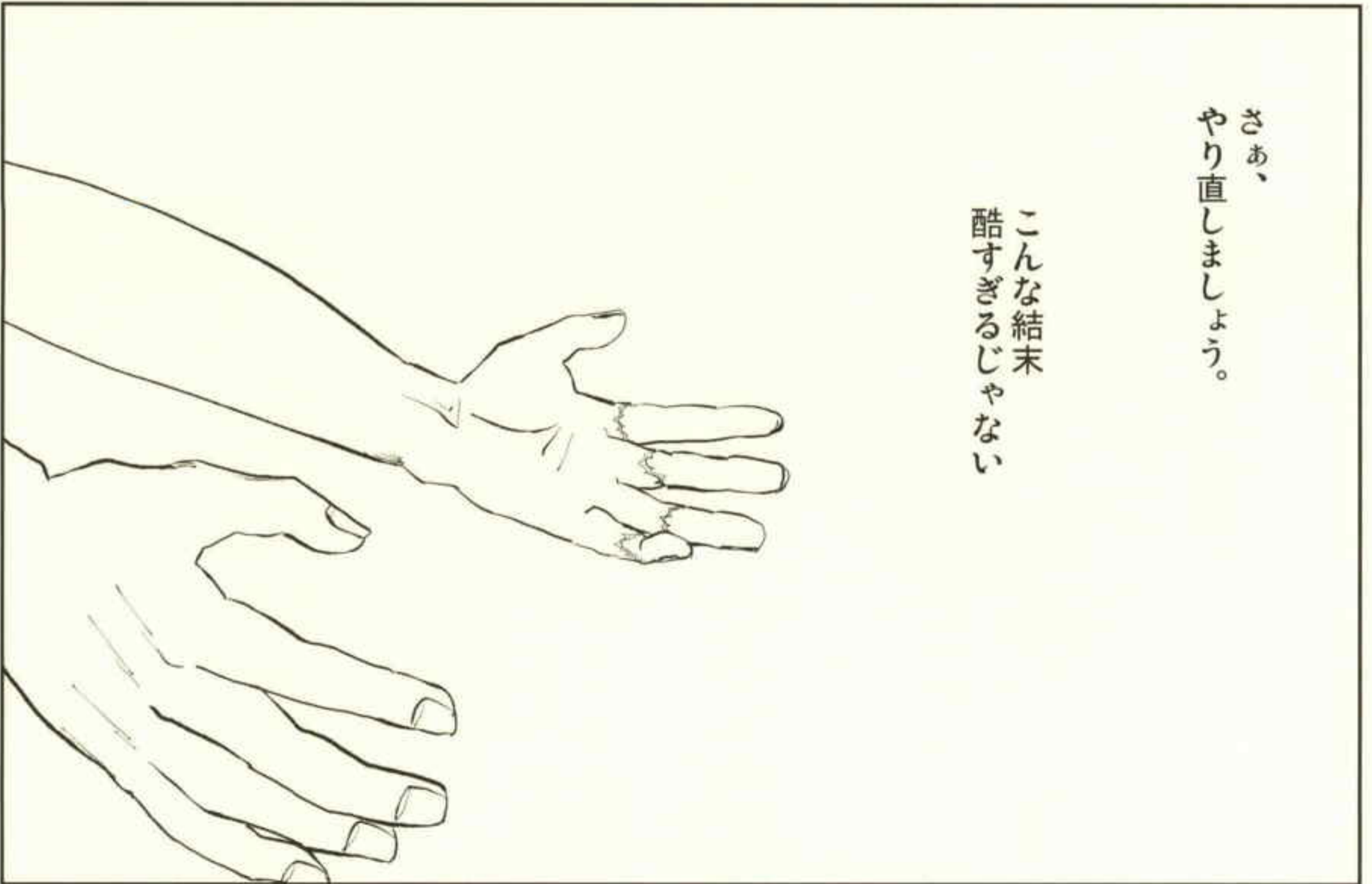


でもあなたの
その業を全て忘れて
しまいたいなら

私は力になって
あげられる

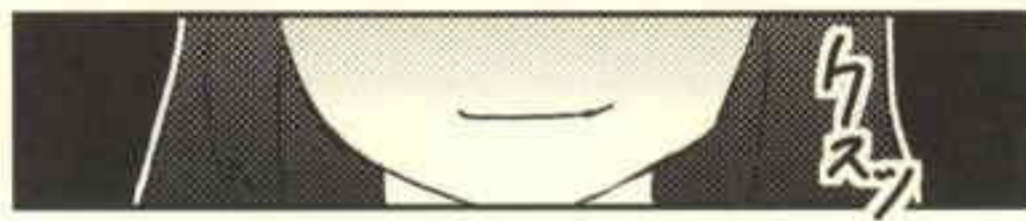
さあ、
やり直しましょう。

こんな結末
酷すぎるじゃない





あんたの指図は
受けねーよ
私の罪は
私が背負う



忘れないで、
私はいつでも
あなたの味方だから



「私は今生きているのか？」

ワルプルギスの夜を終え、杏子は一人戦っていた。
戦う横にはすでに誰もいない。
苦悩し、倒錯しながらも、どうにか生きていこうともがく。

過去の消えない罪に悩まされながらも、
必死に前を向いて生きようとする杏子は
今度こそ逃げずに向き合いたい、そう思うのだった



ぼるしち定食
present